

6 伝統食品



⇒続きは書籍で

なじめに

● 肯苯片とものづくり

白素人は、苦くから手仕事をうやまい、職人の技術をみがきあげることで独自の文化をきずいてきました。明治維新以降も、西洋からの新しい技術を取りいれることで、世界有数の「ものづくりの国」となりました。

● 次世代へ受けつぐ、たいせつな財産

資源にとぼしい日本で、削治以降の近代化を可能にし、昭和の敗戦のあとに復興をとげて高度経済成長時代をむかえることができたのも、"ものづくりの遺伝子"の方によるものです。このことは日本人がほこれる、たいせつな長所です。いくつもの世代をこえて伝えられてきた職人競を次の世代へとつなげていくことは、いまを生きる私たちの役割です。

●職人たちの仕事を知る

このシリーズでは、現代にあっても、ものづくりの心を失わず、自春、より良いものをつくろうとしている会社と、そこで働く人たちの仕事ぶりを伝えています。自ごろ何気なくつかっている品物が、どうやって生みだされているかを知ることもできます。一人ひとりの仕事が社会とどう結びついているかに気づくことは、読者のみなさんが将来の職業を考える上でもきっと参考になることでしょう。

なお、このシリーズは、次のような6巻構成になっています。

1巻 スポーツ用品 2巻 楽器 3巻 食の周辺で

4巻 伝統工芸品 5巻 衣類・かばん 6巻 伝統食品

Y		
'Y , V	はじめに2	
	この本の使い方 4	
	TARSUKOA A	
	窓たちがつくっています・ 伝統資品 ① ほんとうにおいしい醤油を知ってほしい	
	ちば醤油 5	
	横ズファイル 小坂 首告さん (5は醤油 技術部・麓窪宝場) · · · · · · · 12	
	私たちがつくっています。伝統食品 ②	
	江戸時代から伝わる味噌づくりの技を今日に受けつぐ	Ī
	* F	Í
	議	
	私たちがつくっています。伝統食品 3	
	国産大豆100%の納豆で日本の農業と食生活を応援	-
	登畫和後 品 21	(
	本学	
	料たちがつくっています・伝統後品 ① 500年以上も変わらぬ味の日本酒をつくる	
	500年以上も変わらぬ味の日本酒をつくる 剣菱洒譜 29	
	東京 日本 中野 勝さん 芋瀬 智仁さん (剣菱道道 品質管理室) 職話的 …36	
	A	
	もっと見てみよう、わらづとづくりと菰巻きのようす37 わらづとづくり/菰巻き	
	さくいん 39	

との本の使い方

この本では、勇造なものや、 知られざる名品、 すぐれた品などをとりあげ、 それをつくっている人たちと、 その会社を紹介しています。

2・3ページ首



-どんなものをつくっているの?

とりあげた会社がつくって いるもののすごいところ や、特徴などを真体的に 紹介します。

ワンポイント 文中に出てくるキー ワードや、知っておき たい重要な用語につ

いて解説しています。



_ もっと覚てみよう

とりあげた会社が、どう いうものづくりをして いるのかなどを具体的 に紹介します。

ものづくりの極意-

会社の創業からこれま での歴史をふりかえり、 ものづくりへのこだわ りを覚ていきます。

1ページ首



その会社がつくっている 製品です。

紹介されている会社の 所在地、創立年、従業 賞数です。

4・5ページ首



-どんな仕事場?

とりあげた製品が、どんな ところで、どんなふうにつく られているのかを写真と いっしょに紹介します。

8ページ首



職人ファイル

⇒続きは書籍で

とりあげた会社の社員 の方に登場していただ き、入社の動機や仕事 へのやりがいなどをイ ンタビューしています。 写真は、インタビュー にこたえてくださった 本人です。

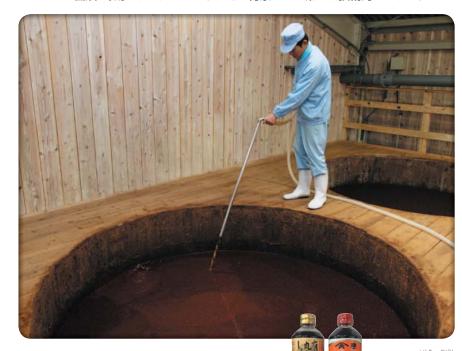
●●さんの1片

ふだん、どんなふうに仕事 をしているのか。ある1 日を例にとって、時間を 追って見ていきます。

私たちがつくっています・伝統食品 ①

後んとうにおいしい醤油を 知ってほしい

醤油は、白本の食気化には欠かせない調味料です。大手メーカーが出荷額の準券ほど を占めるなか、ちば醤油は、おいしい醤油をたくさんの人に知らせたいという考えで、 こだわりの醤油を数多くつくっています。その背景には、確かな技術ががあります。



ちば醤油

- 所 在 地 / 主葉 県 香 敢 市
- ●創 業/1854(嘉永7) 準
- ●従業首数 / 160分*



ちば醤油の製品 の一部。醤油だ けではなく、た れなどの調味料 もある。

*パート従業員もふくむ。